



**第54期（2017年12月期）  
決算説明会資料**

**2018年2月28日**

**共同ピーアール株式会社**

©KYODO PUBLIC RELATIONS CO.,LTD.

# 2017年12月期 業績の概要

## 連結業績

単位：百万円  
端数切捨

	2016年度	2017年度	増減額	増減率
売上高	4,099	4,379	+279	+6.8%
売上原価	1,703	1,821	+118	+7.0%
売上総利益	2,396	2,557	+161	+6.7%
販管費	2,216	2,293	+76	+3.5%
営業利益	180	264	+84	+46.7%
経常利益	180	258	+77	+43.1%
当期純利益	163	221	+57	+35.3%

## サービス区分概要

### リテイナー

#### 6ヶ月以上の契約で企業等の広報活動支援やコンサルティングサービス

(ex. P R戦略の策定、ニュースリリース作成支援、マスコミ各社の担当記者リストの整備、危機管理広報対応支援等)

### オプションル& スポット

#### 上記リテイナー契約顧客に対する一時的な付加サービス、6ヶ月に満たないリテイナー同様のサービス

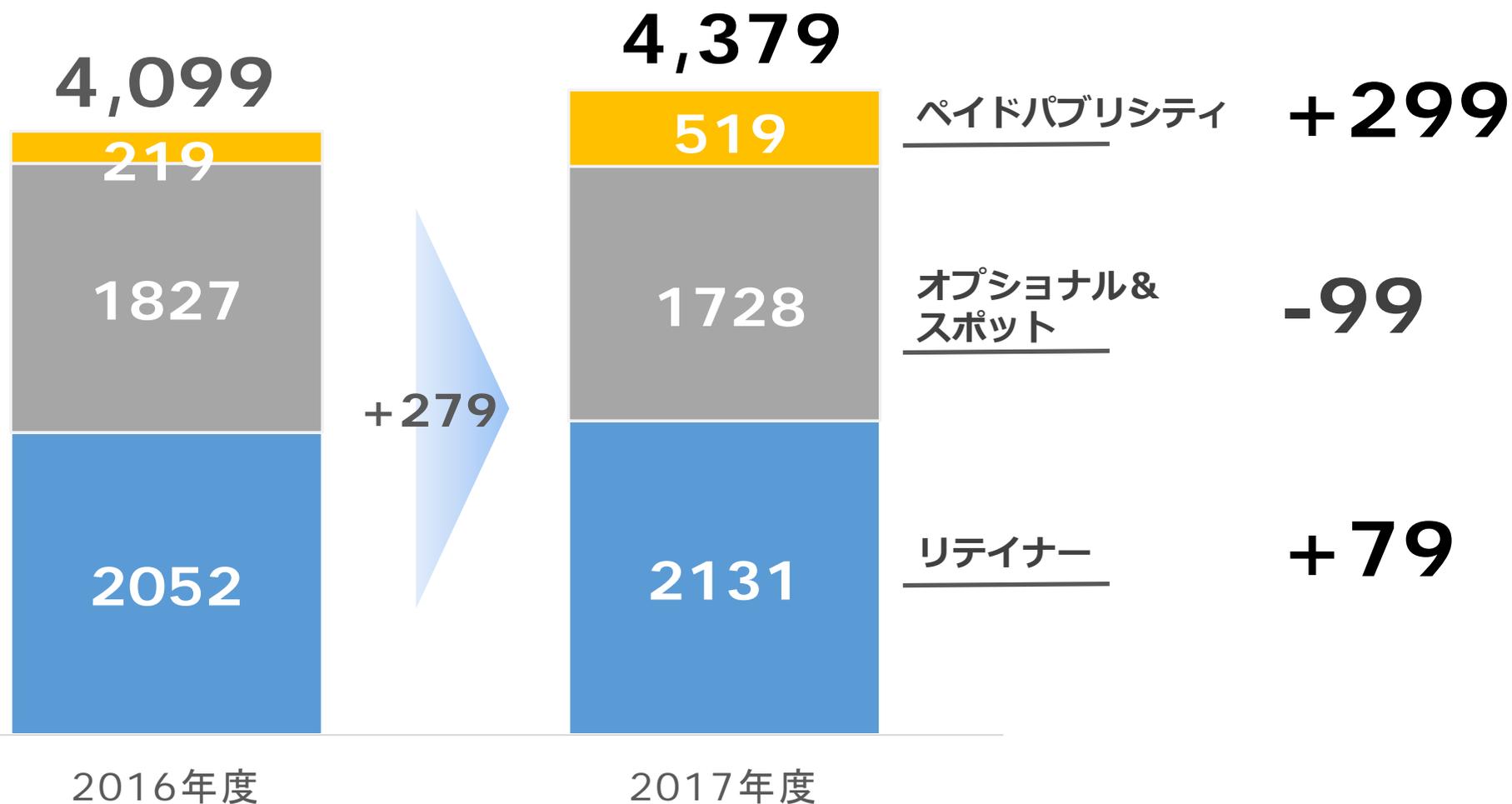
(ex.記者発表会、P Rイベント、プレスセミナー、危機管理広報マニュアルの作成等)

### ペイド パブリシティ

顧客のニーズやP R素材の性質によって、新聞や雑誌等の特定ページを購入し、顧客の意図する内容を記事形式で掲載するサービス

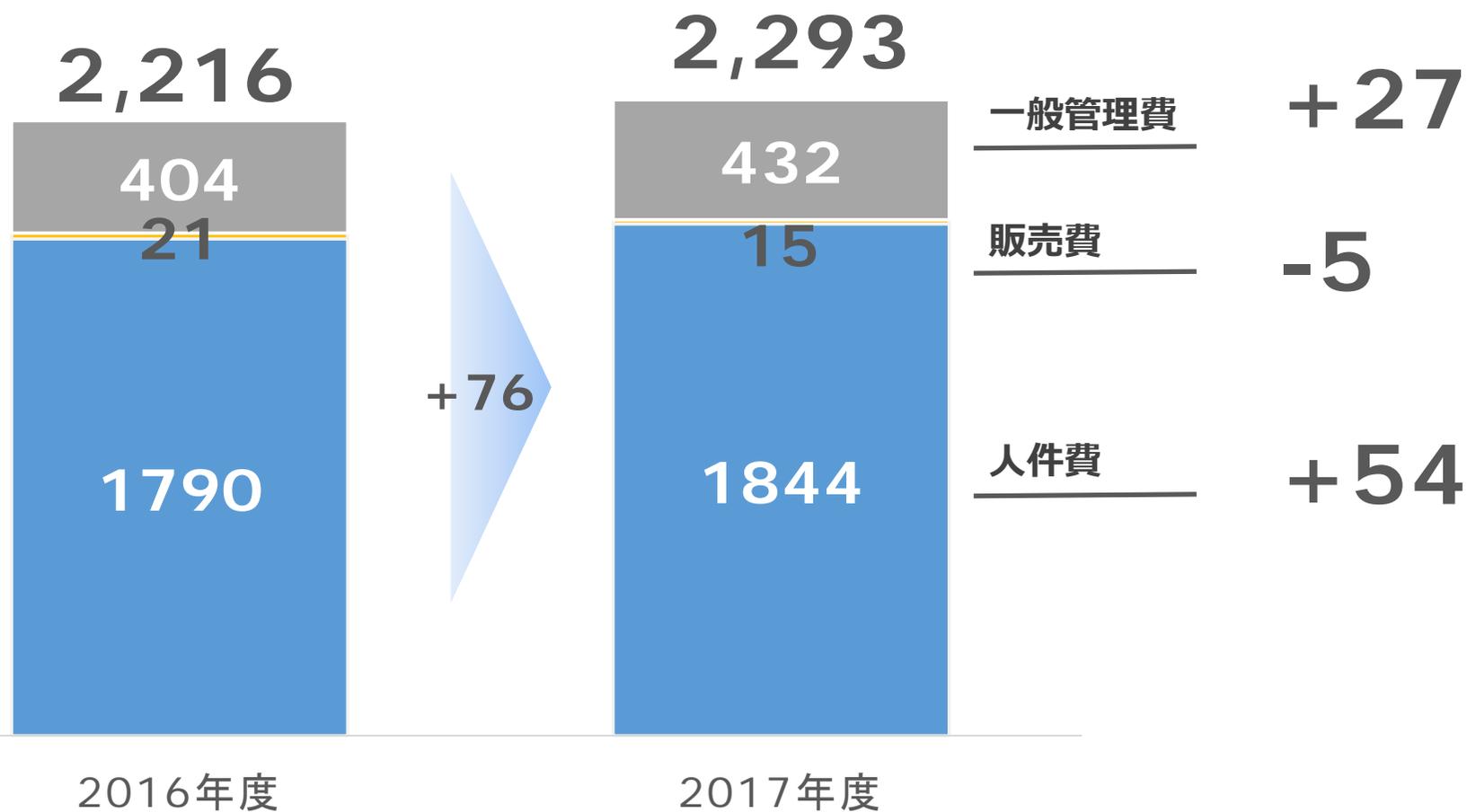
# 売上高【連結】

単位：百万円 端数切捨



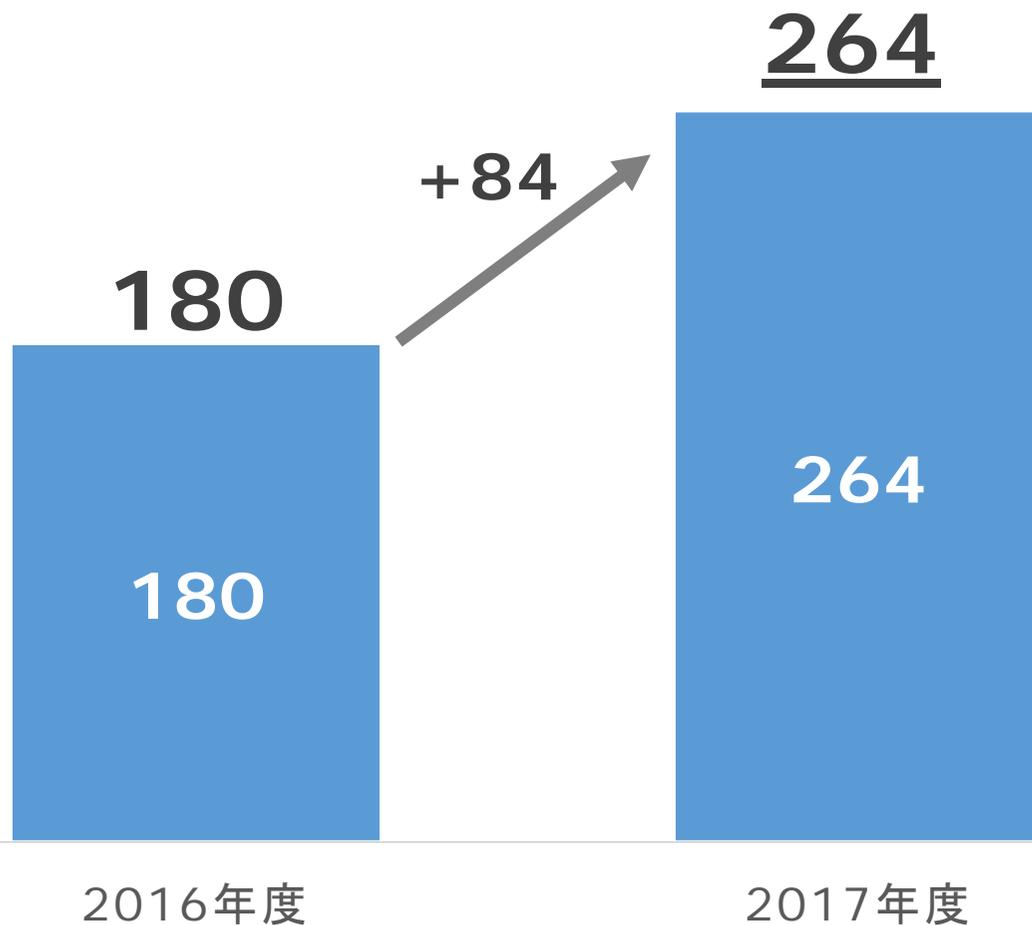
# 販売費及び一般管理費【連結】

単位：百万円 端数切捨



## 営業利益【連結】

単位：百万円 端数切捨



前年対比

**46.7% UP!**

前年の売上総利益に寄与しなかった案件がなくなり、高利益率のリテイナー契約が増加

# 財務状況【連結】

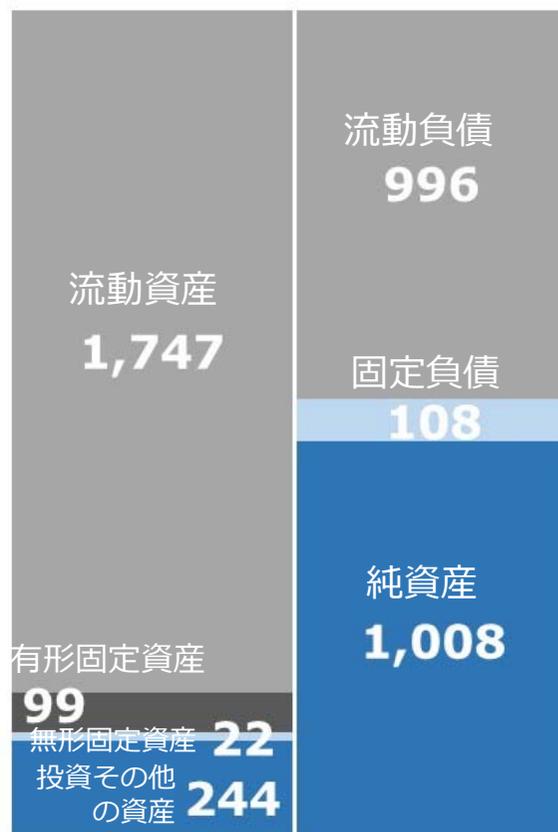
単位：百万円 端数切捨

2016年度末



自己資本比率 43.8%

2017年度末



自己資本比率 **47.5%**

	増減額	増減率
流動資産	+301	+20.9%
有形固定資産	+11	+13.6%
無形固定資産	-6	-23.3%
投資その他の資産	+22	+10.1%
流動負債	+196	+24.6%
固定負債	-93	-46.4%
純資産	+226	+29.0%

**3.7points UP!**

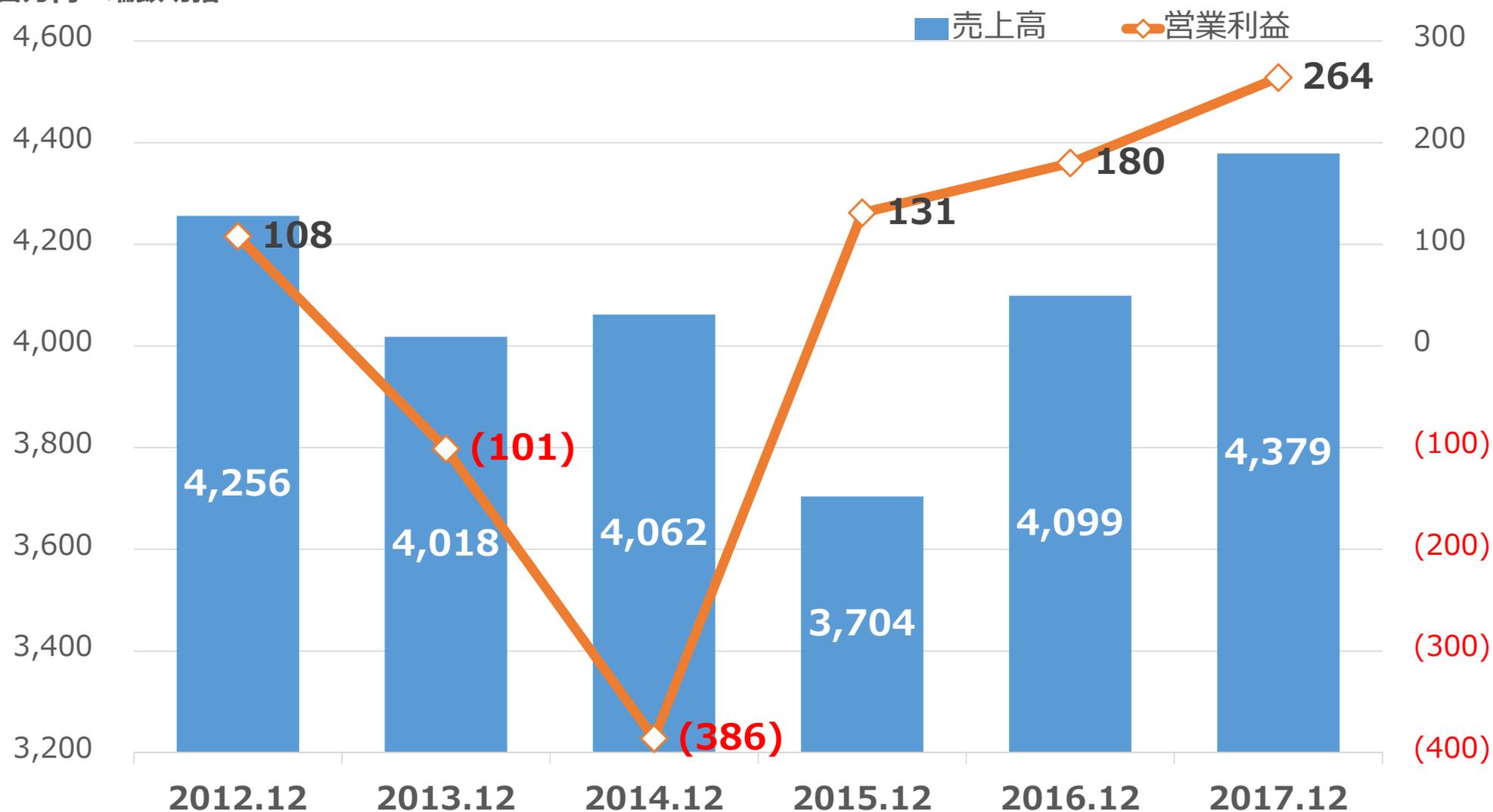
# キャッシュフロー【連結】

単位：百万円 端数切捨	2016年度	2017年度	2017年度 内訳
営業キャッシュフロー	124	152	売上債権の増加：240百万円 未払い消費税の減少：20百万円 税金等調整前当期純利益：256百万円 仕入債務の増加：150百万円
投資キャッシュフロー	-16	-15	有形及び無形固定資産の取得による支出：8百万円
財務キャッシュフロー	30	-89	長期借入金の返済による支出：109百万円
現金及び現金同等物	542	590	

# 2018年12月期 経営計画

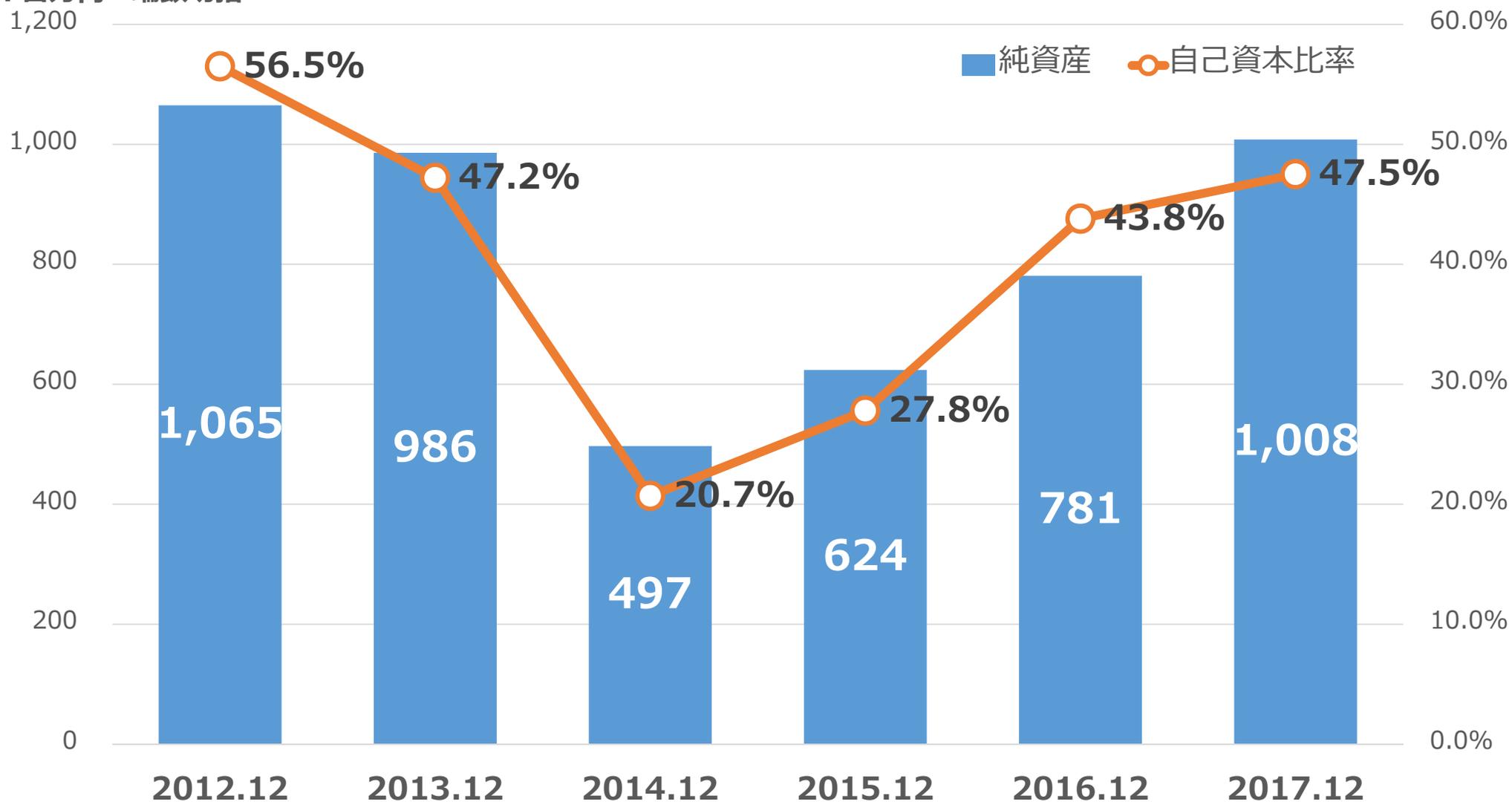
# 売上高・営業利益 推移【連結】

単位：百万円 端数切捨



# 純資産・自己資本比率 推移【連結】

単位：百万円 端数切捨



## 第55期（2018年12月期）経営計画【連結】

単位：百万円 端数切捨	2017年度 実績	2018年度 予想	増減額	増減率
売上高	4,379	4,500	+120	+2.8%
売上原価	1,821	1,837	+15	+0.8%
売上総利益	2,557	2,662	+105	+4.1%
販管費	2,293	2,362	+69	+3.0%
営業利益	264	300	+35	+13.4%
経常利益	258	295	+36	+14.3%
当期純利益	221	248	+27	+12.4%

## 第55期（2018年12月期）経営計画【単体】

単位：百万円 端数切捨	2017年度 実績	2018年度 予想	増減額	増減率
売上高	3,883	4,000	+116	+3.0%
売上原価	1,700	1,734	+33	+2.0%
売上総利益	2,182	2,265	+83	+3.8%
販管費	1,990	2,040	+50	+2.5%
営業利益	192	225	+32	+17.1%
経常利益	186	220	+34	+18.5%
当期純利益	170	196	+26	+15.4%

1. **リテイナーPR事業**
2. **マーケティングPR事業**
3. **デジタル・コミュニケーション事業**
4. **セミナー事業・コンテンツ事業**

## 1. リテイナー P R 事業

- ▶ 顧客との継続的・長期的なコミュニケーションをベースに顧客課題の解決と新たな価値創造  
⇒ブランディング

## 2. マーケティングPR事業

- ▶ 顧客の短期的なマーケティング課題を統合的なPR手法を通じて解決し、長期的なブランディング形成に貢献
- ▶ 広告代理店との連携強化

### 3. デジタル・コミュニケーション事業

- ▶ インターネットメディア等を活用したデジタル・コミュニケーション領域の事業強化
- ▶ V A Z社との資本業務提携、メイシス社との「ローカルインフルエンサーPR」への取り組み

## 4. セミナー事業・コンテンツ事業

- 「広報の学校」などスクール・トレーニング事業等のセミナー分野の強化
- 企業のPRを支援するコンテンツの発掘

## 将来予測に関する注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。